

第613号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2020年4月16日
発行責任者 喬木村公民館長
市 瀬 徹
編集責任者 公民館編集部
仲 田 久 志
印刷 龍共印刷株式会社

2020年度 喬木村公民館活動計画

公民館本館4部では、2020年度も下記の様な事業、学習会等を計画しています。公民館活動の願いは村民の皆さんに元気になっていただくことです。どうか積極的にご参加をお願い致します。

なお、学習会やイベントなど、公民館で取り組んで欲しいこと、詳しく知りたいこと等ありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

Table with 2 columns: 内容 (Content) and 編集部/社会部/体育部/教養部 (Departments). Lists various activities like monthly newsletters, festivals, sports events, and lectures.

令和2年度喬木村公民館本館部員名簿

Table listing staff members by department: 編集部 (4名), 社会部 (9名), 体育部 (7名), 教養部 (7名). Includes names and positions like 公民館長, 部長, 副部長.

館報編集部長となり長い年月館報を発行して来ましたが、村民の皆様には毎月いろいろな所で公民館活動に参加してもらっています。今年、ウイルスの関係で、公民館活動の最も大切な人が集まることが出来ません。こんな時、公民館として何



公民館に思う 編集部長 仲田久志

が出来るのかには考えが及びません。ただこのウイルスが収まるのを待つだけです。思う事は、今までとは違う生活になっている事だと思えます。前の様になりたいたいと思えます。この不便な生活の中で、今までは違う何かで気分が落ちた事も大切だと思えます。不便なことをなげくばかりでなく、何かで気分が落ちた事もおもしろい事、発想を転換する時なのかもしれません。SNSなどで、よくわからない情報を発信してあたふたします。こんな事に困っています。早く公民館活動が出来ますようお願いいたします。

あの時

卒業生一人一人に赤いバラが贈られた。新型コロナウイルスの感染防止のために卒業式は規模が小さく、地域の方々の出席は叶わなかった。地域の思いを届けた。社協職員提案の心温まるプレゼント。ボランティアの方々の手で「おめでとう。これからもあなたの活躍を地域の皆で応援しています」というメッセージを添え、一本一本でいねいにラッピングして準備したと聞く。

椋鳩十ものがたり 63

『椋鳩十全集』掲載作品

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

椋鳩十全集十二

「日高山伏物語」

昭和四十五年四月

この巻には日高山伏(ひだかやんぶし)という人について書かれた文が六十四作品載っています。どれも短編ですが、どの文にもけちんぼうの山伏どのが登場します。

その「おとしもの」山伏どの、けさはめずらしく馬でかけた。すがすがしい朝の空気の中、カッポカッポと、馬上にゆられていくのはまことに気持ちのよいものである。うしろにはおとしもの女中がついていきます。女中はいつもおしゃべりが多いようです。そんな女中に山伏

「はい、しゃべるとはさぬか」

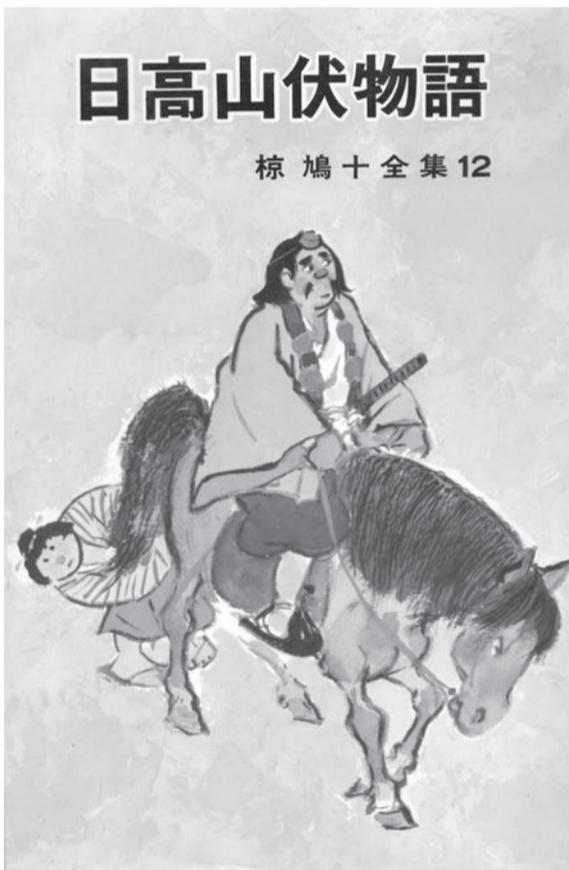
どの「しゃべりちらす」ということは、はらもへるし飯もよぶんに食うということになる。だすものは、ことばであるろうと、なんであろうと、いっさいケチケチしてもおしみることに「じゃ」と教えます。

らがるから・・・と申されていきいちゆうでしたので、だまつていたのでございませう

山伏どの、小言を言いながら進んでいった。しばらくすると

「だんなさま、おとしもの」

「女中は、『馬のしりから、ぎょうさんにくそが落ちてまいりました!』



「よく気がついた。畑の肥料になろう。いっさい残さずひろい集めて、まえかけにくるんでまいれ。感心!」

数日後、今度は新入学児童全員分の布製手作りマスクが小学校に届けられた。私は村の子どもを思う地域の方の気持ちが、形を変えて繰り返し届けられたことをうれしく思う。こんな方々が暮らす村を誇らしく思うのは私だけではないだろう。(館長)

令和2年度 分館活動計画

分館名	分館長	スポーツ(分館対抗を除く)	講習会・その他(健康のつどい・村文化祭を除く)
北	宮下 一彦	常会対抗マレットゴルフ大会	村政を聴く会、夏のイベント、敬老会、音楽の集い
寺の前	松澤 正進	組合対抗マレットゴルフ大会	ブルーベリー手入れ、敬老会、夏休み親子行事、正月行事
帰牛原	林 康彦	球技大会、運動会	敬老会
郭	吉岡今朝一	運動会	敬老会、手芸教室、正月飾り講習会、ほんやりづくり
町	西島 明	健康ウォーキング、町内球技大会	阿島祇園祭納涼祭、敬老会
南	前澤 一郎	マレットゴルフ大会、スポーツ大会	花壇花植え付け、夏休み行事、料理教室、夏休みラジオ体操、おやす作り、ほんやり
馬場	原 和由		花壇・花の管理、敬老会、女性部講演会
両平	原 和彦	地区マレットゴルフ大会	河川清掃、研修旅行、敬老会
田上川	井澤 清信	親子レクリエーション	フラワーロード各種作業、河川清掃、視察旅行、デイキャンプ、敬老会、正月飾りづくり、ほんやり、歓迎迎会
上平	松島 祐次	マレットゴルフ大会	花火大会、座禅の会、研修旅行、敬老会
伊久間	野島 登	区民マレットゴルフ大会、組合対抗ニチレク(室内ペタンク)大会・常会対抗ソフトボール大会	敬老会、わの里祭り
富田	田中 三男	常会親睦ペタンク大会、常会対抗ソフトボール大会	敬老会、夏祭り、秋祭り、おやす作り、カルタ会
大和知	横前 悦郎	区民スポーツ大会	獅子尾花作り、敬老会、花壇管理、納涼大会、区民遠足、どんど焼き
氏乗	元島 政好	区民体育祭	花壇作り、河川清掃、敬老会、手芸教室、チューリップ植え、婦人部遠足、公民館旅行、図書の出し出し
大島	佐々木 泰		シダレザクラお花見、敬老会、花壇作り、旅行
加々須	村山 蔵男		手芸講習会、親睦事業、ミニサロン、花壇手入れ、夏まつり

令和2年度 楽遊塾 講座内容について

今年度の楽遊塾の講座計画一覧です。大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。

●講座内容

- 【第1講座】「郡外研修 中野市一本木公園のバラ見学」5月31日(日・予定)
中野市的一本木公園にある美しいバラを見に行きましょう。
- 【第2講座】「はじめてのポーセラーツ作り」8月30日(日)
真っ白な陶器に好きな色や模様の転写紙を貼って、自分だけのオリジナルの作品をつくります。
- 【第3講座】「タテ・タカコさん 安田菜津紀さん 講演会」9月5日(日)
タテ・タカコさんと安田菜津紀さんのお二人をお呼びし、講演会を行います。お二人のコラボレーションに注目です。この講演会は教養部と平和学習実行委員会との合同開催です。
- 【第4講座】「クリスマスリースづくり」11月29日(日)
自然の素材をふんだんに使用した、クリスマスリースを作ります
- 【第5講座】「アコーディオンクラブの演奏を聴こう」令和3年1月17日
アコーディオンクラブ秋桜+1の皆さんの演奏を聴きます

令和元年度の楽遊塾の様子



5月19日 郡外研修

美ヶ原高原、松本城に研修に行きました。高原の爽快感や国宝松本城を体験しました。



6月16日 童謡唱歌

講師に清水正則さんを迎え、「春の小川」など15曲を歌いました。曲のエピソードなどのお話も聞きました。梅雨の気分を吹き飛ばす楽遊塾でした。



9月29日 七宝焼き

普段体験する機会のない伝統工芸「七宝焼き」を体験しました。講師に七宝焼きクラブの皆さんを迎え、参加者は宝石のような作品を作り上げました。



12月8日 クリスマスイベント

クリスマスを間近にして、「サンディ☆サンド」の小林美和さんを講師に迎え、丸パンで作るフルーツサンドを教えて頂きました。自由にデコレーションしました。

高木俳句会
弥生句会詠草

ほろ苦き路の薑味噌父惚ぶ
早春の目覚めは雲の光かな

冬帽子ふたり薄毛は父譲り
春めくや子の帰り来る砂利の音

大寒の吾子の声する忌日かな
幼名で呼び合ふ友や春うらら

靴や布縫ふ指の触れ痛む
紅梅の俯き香る茶室かな

市瀬 千文

西元くにこ

市橋 ヨリ

田中 君子

冬茜初めし輪を舞ふ鶯かな
紅梅の香り漂ふ畑を鋤く

独り病む音無き家の紅椿
家路来て冷たき髪の頬に振る

梅一樹つつまじやかに生きてをり
春光を集めて小さき拳かな

振り向けば淡く消えゆく春の虹
巡り来る月日を癒えし路の臺

眠る猫三寒四温かわららず
菜の花や明日は明日今日の風

村山たか子

秦 恭子

松葉 孝子

原 美恵

吉川てる子

阿島祭り中止に

今年の阿島祭りは、新型コロナウイルスの流行により中止となった。長い祭りの歴史の中で感染症により中止となるのは初めてではないかと思う。これはある意味歴史に残る出来事ではないかと思う。当日は囃子屋台、獅子舞などは中止となり、昇り旗七ツ灯笼も上げず、阿島の通りは静かで寂しいものだった。天気は



良かったのに残念に思った。神事だけは行われた。八幡社から御神体を安養寺にある四本柱に移し神事を執り行った。神官が上げる祝詞が静かな境内に流れ、人が全くいないお祭りだった。(編集部)

分館対抗ペタンク大会 開催見送りのお知らせ

五月十日(日)に予定されておりました分館対抗ペタンク大会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送らせていただくことになりました。村民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

以後の予定されております球技大会につきましては、感染の状況等を鑑みながら、引き続き本館体育部で検討させていただきます。

編集後記

いよいよ春本番と言うのになんと悲しい日々であらうか。新型コロナウイルスで、とうとう有名人が亡くなった。お年寄りだけではない、若い人も赤ちゃんも重症化する。密閉、密集、密接に気をつけて手指消毒、マスクは絶対である。増え続ける感染者に長期戦も覚悟しなければならぬのか。日本、そして世界は一体どうなってしまうのだろうか。